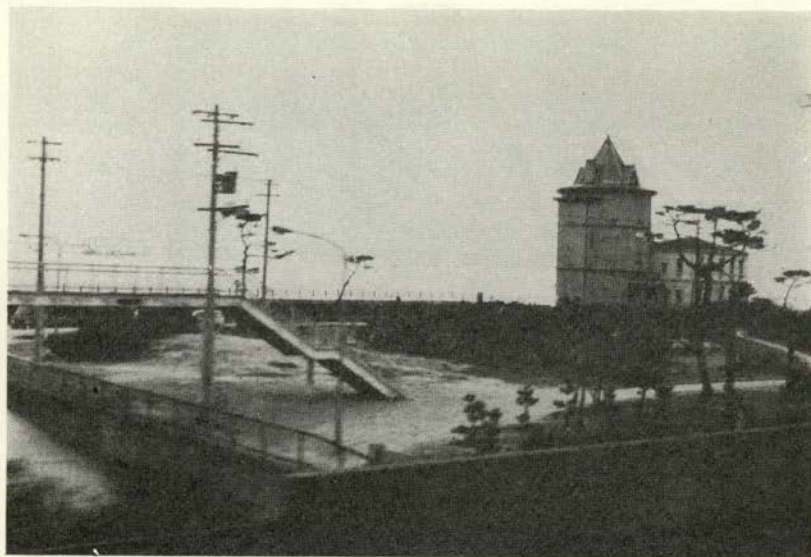


□れんさいずいそう

XIV

舞子哀愁

林田 重五郎（随筆家・写真も）



舞子の六角堂はこの名所の焦点である

舞子——マイコ……なんという可憐な地名であろうか。神戸にはずいぶん美しい地名が多い。須磨、布引、六甲、垂水……しかしやさしさでは、やはり舞子が最高である。その証拠に△△舞子とか××舞子というのが日本の諸所に出来ている。だれがつけたのか、本当にすばらしい地名ではある。



戦前と昨今と比べて、神戸もあちこちで大きく変わっている。ミナト、高速道路、地下街、高層ビル……しかし最大の変化は舞子垂水を中心とする垂水区南部のかわり方ではなからうか。

大阪府の千里丘陵なども近畿での驚きの一つだが、舞子の方もそれに劣らない。明石海峡を船で通っていて、アッと声を出すのが、あの林立したアパートの大集団である。夕焼に色づいているのを見ると、形容詞は古いが現代の竜宮である。数年前プレジデント・ウィルソンの甲板から、この新しい風景を眺めたが、近くにいた白人たちも口々にビューティフルとかテリブルとか称えていた。

わたしは垂水の高丸にある県立高商（いまの商大）で学び、昭和六年春から一年間、あの山の上の学校へ通った。垂水駅で汽車を降り、川添いの道を二キロほど毎朝登校するのであるが、百メートルもゆくと垂水の町外れになって、あとは田圃と小山ばかり。水泳部がブル代わりに借りていた用水池などがあるだけ。山の上にポツンと母校と県商が建っていて、学校の背後は垂水のゴルフ



まるで外国のような明舞団地

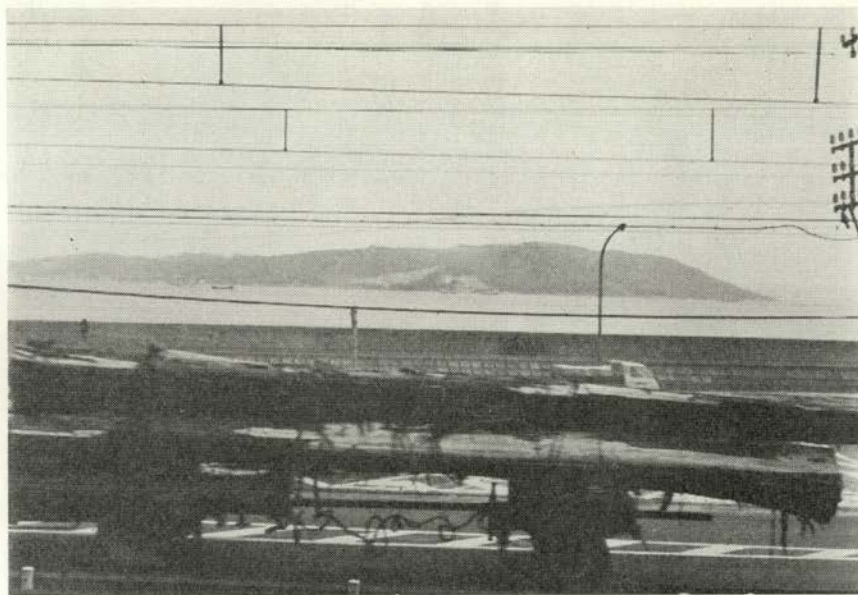
場が接していた。

同じ道を上下するのに飽きて、たまには運動場の隅から山道を舞子へ下る。三、四キロあったと思うが、高度二百メートル以下の丘陵つづきで、小さな松や雑木ばかり。植林するには土質も水も不十分、経済的価値はゼロに近かった。ただし海が光る、淡路島が浮かぶ。そして舞子の浜で六角堂を眺めながら寝そべって、天下の名所のなかで青春の日をたのしんだものである。

垂水駅から学校への田も、その西側で二、三軒新築の家が点在していた霞が丘も、いまは家がいっぱい。学校から舞子へ下りる広大な雑木の丘はすばらしい団地群にかわっているのである。四十年昔といまと、これも形容詞が古いが夢のようだというよりはかはない。

十年前に当時の垂水区長重村実治さんに話を聞いたことがある。垂水区を昭和十六年に神戸市と合併した旧区と、二十二年に合併した新市域とに南北にわけて、旧区の発展が特にすばらしい。十六年に二万三千、二十二年に三万九千だった人口が、この話を聞いた十年前で七万八千、二十年間に三倍増とのことだった。いまは団地も殖えたのでこの十年間に更に倍増しているのではなからうか。

団地は美しい。例えば新しい明舞団地、新設された朝霧の駅から神戸明石両市境を北上している道など、日本とは思えないほどの新感覚である。メイマイという発音も感じがよい。



波路と海のみえるこの国電での通勤者は果報ものだ

る。

やがてハモにサシミや塩焼きが盛られて来る。サシミが強い弾力を持っている。日は暮れ、鳥影が濃くなり、灯台の光りが強くなる。夜の浜風がころよい。腹いっぱい食って酔って、五人で六、七円、十円にはならなかった。三十年あまり前の舞子である。

いまあんなにうまい明石鯛が食えるかどうか。公園の松もあのころに比べると少なくなかった。殖えたのは車である。もっとも神明高速が開通して、最近停滞が少なくなったのはなによりであるが……。

かわったといえばお隣の垂水駅近くの海（かい）神社、海へ乗り入れる祭りで有名なところ、母校でうたった歌の中にも「朝の参りは海神様よ……」というのがある。境内にここも駐車場が出来ている。駅前が満員なだけに大変便利だが、駐車料といわずにお初穂料を納めることになっている。

◇

もう一つ良くなった方では、神戸市営のパブリックの舞子ゴルフ場。原口遺政の一つだが飲食を入れて三千円そこそこのという安い料金はまことに有難い。芝がもう一つとの説もあるが、舞子の海や団地の見える景色は大したものである。いま六ホールの練習コースを増設工事中、団地にとっても近くに広大な緑があるのはプラスであろう。原口さまさまである。

◇

初夏、栄町の事務所から同僚四、五人で夕刻、舞子までタクシーを走らせたことが何度かある。砂浜の上にしよぎを置き、テントがはってある。注文すると主人が海に浮かぶイケスを引き寄せる。目の下一尺の明石鯛がはねている。大きなタコも動いている。これとこれをと指で注文す

□ ずいそう □

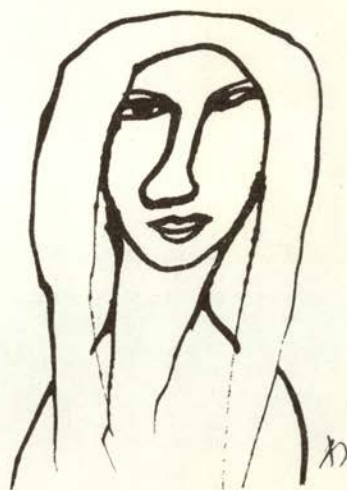
高速を

走りながら

荻 昌弘
え・津 高 和 一

この四月、私ははじめて、西宮から長田へ、高速道路を走りぬけた。溜飲のさがるような爽快な感慨があった。

昨年、半年のあいだ、神戸のサンテレビで夜の番組に出て、私は週一日、ひるは大阪から、夜は伊丹まで、下の二号線にタクシーを走らせるのがきまりになっていた。サンテレビで予約してくれた神戸のタクシーは、どれも、驚嘆にあたいするほど親切で、じつはそれが、神戸に対する私の感情を今でも一つ作っているのだが——それにしてもゆううつだったのは、この高速道路工事の真下を走りぬけてゆく、あの騒がしい危険さであった。たぶん私は、残りの一生、神戸、といわれると、反射的に、あの騒音と土ほこりのなかに鉄骨やコンクリの地肌がむきだしになっていた二号線も、頭に浮べてしまわざるをえまい、と思われるほどだった。——半年後、はじめて、その完成体の上を走って、私は改めて、ものの上と下とがこうもちがうか、を思い知ったのである。



芦屋から灘、三宮へ入り、港のわきを柳原へ一気に滑走してゆく間じゅう、今さらのように、神戸とは長い街だなあ、と呆れて、そして、それにしても美しい街だ、と感に堪えないわけにゆかなかった。いったい、この、とびぬけて美しい日本の街は、私にとって何なのであろう。私は、半ばりに、またそれを考えはじめていたのだ。

昨年、サンテレビに出る前、私には神戸は、港で船を見る街であり、六甲で涼をとったあと、どこかへ中華料理を食に行く街であり、キングス・アームズでスコッチを飲みながらローストビーフを食べるたのしみもある、そういう街だった。それだけの街だった、ともいえる。だから、何度出かけても、国鉄駅のならび方が、覚えられなかった。まことに、われながら、頼りない無知のまま、地域放送に出はじめたわけで、もしあのとき、淀川長治氏が、「いいところよ、いいところよ、荻さん、あなたに、ピッタリ、ピッタリ」とうなずいてくださらなかったら、到底、出る勇気な

ど、持てなかったにちがいない。

神戸に通いはじめて、私は先ず、テレビ局の人々の、悪ずれのない、人間的なヨサに、びっくりした。その後、他局へ出かけては、そのたんび、日本でサンテレビくらい気持よく仕事できる局はないぞ、と、嫌味をいうのが癖になったのだが、じつは、もっと正確に言えば、私が思い知った本音とは、神戸人は人が善い、などということではなかったのである。神戸という街が（テレビ局にかぎらない）なんの格別な心のポーズも武装も必要なしに、ふだんの私の感覚そのままできあえる、そういう人気（じんき）の場所だ、という発見だった。

当然のことだが日本各地にひそむそれぞれの郷土意識は、その人々に、東京から行く私に対する一種の劣勢を、必ず生ませてしまう。九州、東北、そして関西、どこでものことである。その劣勢はまた必ず私にはね返り、私はどこへ出かけてもある硬直なしには、その土地の人と話せない気がしていた。——ところが、神戸には、それが無い。私は、来るたび、なんてここは透明な街なのだろう、と思うようになっていった。

半年通って、むろん毎週せかせかした往復ではあったけれども、それでもさすがに、街の表情は、以前とは比べものにならず濃く私の心に姿を落すようになった。私は女性の侍る酒を好まないから、そっちの店はまるで未開拓に終わったが、食う店、肉を買う店、パンの店、服装の店、その知識も、少しは増えた、といっている。そして私は、そこでも、神戸という街はふしぎに透明だな、という感を消すことができなかった。この街の店は、どこも、何の気おくれや違和感もなく、

ふだんそのままの気持で入れる。それでいて、どこかに、ある種の、“狎れ”を拒絶する空気——はつきりいうと、親切なよそよそしさが、漂っている。私には、それが、なんともいえず快適な透明感に、耽れるのであった。

半年、ほとんど毎週、ひとりで通いつめた、三宮の裏通りの、炭焼きステーキの店。この手ぜまな店は、味もシェフの態度も、半年後も最初入ったときと、全然、変らなかった。つまり、徹底的に毎週うまい肉を食わせながらこっちも向うも、アイサツひとつしなないで、カウンター越しに、黙りあっていた。私の理想の店であった。私は、こういう親切なよそよそしさを、日本に望んでいた。

神戸という街の身ぎれいさは、誰でもがいう。私のいう、よそよそしさと、この身ぎれいさは決して無縁ではないが、この身ぎれいさは、いったい神戸の何から生まれたのか。結局それは、山と海、つまり閉じることと開くことの条件を極度に考えぬかざるをえなかった街の、ある意味での徹底的な「人工性」の産物であるだろう。神戸の人々は、あのよそよそしさと、共同の連帯感を、非常にみごとに化合させてこの街を百年につくりあげた。住む者ひとりひとりの感覚と意識が、日本にもこういう透明な都市づくりを成功させ得るのだという教訓はふしぎに、私を励ますのである。

△映画評論家▽



氏 弘 昌

■9年ぶりにブラジルから神戸へ立寄った若林忠男画伯

帰ってきた若林さん

伊藤 誠

△神戸新聞事業部長▽

若林さんが帰ってきた。ブラジルから、九年ぶりに、ひよっこと。

九年前の五月、若林さんはピカちゃん（光夫人）を伴って、神戸から発って行った。船が岸壁から離れようとする時、彼は、デッキの上から、ポロポロ涙をこぼしながら見送りの連中にいったものだ。「ピカのことばまかせて下さい、きっと幸せにしてみせます」あの光景、強烈な印象として未だに残っている。新婚間もなかったのである。

その以前、彼女と結婚しようと思う、考えた結果やめることにした、というふうな決意やら迷いやらを何度か聞かされた。親しい友の一人であったせいもあるが、

ピカちゃんとの出逢いを、偶然ながらも作った立ち場で当方があった故であろう。すでにブラジル行きは決めていた。カベにぶつかった感のあった若林さんの絵画世界を、文字通り新天地で突き破り、飛躍を期したい、という覚悟だったのだ。そんな時のピカちゃんとの出逢いである。考えが動揺したに違いなかった。そして、結局引つさらうようにしてブラジルへ連れて行つたのである。九年ぶりの若林さんは、やはり変わっていなかった。柔らかな物腰、特徴のある語り口、鴨居さん、峯さん、赤ひょうのご主人、森本さん……といった旧知の人々に会うにつれ、若林さん自身も、十年近い空白を、一挙に埋める思いになったのではあるまいか。「神戸は本当にいい街ですね」と、もらした言葉には、元神戸っ子としての実感がこもっていた。



「でっさん」で神戸の味をかみしめる若林さん

しかし、変わった部分もある。今度の突然とも思える帰国は、実はワシントンで開く個展に作品の到着が遅れ、日程にプランクが出来たためだったと聞いた。すでに国外でも大活躍中のブラジル代表画家の一人なのである。その技倆のほどは、やがて日本でも拝見できるようになるであろう。

若林さんは約一週間「神戸の休日」を心ゆくまで楽しんで、早々にまたワシントンへと飛んで行った。



価値あるロンジン

ロンジンは 万国博で10回もグランプリを受賞しているスイス時計界の名門です。

ロンジンの時計には ロンジンに与えられた数々の栄誉と一世紀にわたる伝統の技術が結晶しています。最も信頼され 最も名声の高い《ロンジンの時計を持つ誇り》そこに価格以上の偉大な価値が秘められています。

ロンジンは 大阪の万国博(スイス館)にも出品されていますから ぜひご覧ください。

ロンジンの本当のすばらしさは 当店で実際にお手にとってお確かめいただけます。



LONGINES

特 約 店



美 甲 時 計 店

元町店・元 町 三 丁 目 TEL33-1798

三宮店・さんちがファンシー・タウン TEL33-8798



呉井陳蔵
みよーや

神戸店 大丸前
電話神戸 3332 三四八番(代)
電話大阪 345 九五八番
電話姫路 23 一二二番

お中元に

バウムクーヘン・クッキー

ピラミッドケーキ・ムンデット

● ゴールデンセット ¥1,100 より各種結合せ致します



北 欧 の 銘 菓

ユーハイム・コンフェクト

■本 社・工 場	神戸市東灘区東内町1 (市立美術館東隣)	TEL 22-1164・9865
■三宮センター店	神戸三宮センター街(洋菓子・喫茶・レストラン)	TEL 33-2421・4314
■生 田 店	神戸三宮生田路(随上喫茶室)	TEL 33-0156・7343
■さん ち か 店	神戸三宮地下街スイーツタウン	TEL 39-3358

GREECE——JAPAN

アテネと神戸を結ぶ海の神

ポセイドン

ポセイドンは古代ギリシャにとって海の神様であった。右手のトライデントで雄々しい生命力を全身にみなぎらせ、時には海を怒らせ、時には風波を鎮めて航海の安全を守る。1928年にギリシャの深海で発見されそれを復元したブロンズ像が、このたび神戸市に寄贈された。須磨離宮公園のカスカードの前におかれる。



C. ハラツァリス

〈万国博ギリシャ館館長〉

M. ペリボラス

〈万国博ギリシャ館
ホステス〉

宮崎 辰雄

〈神戸市長〉

★「花と噴水と彫刻の街」へギリシャからの贈りもの
編集部 このたび、はるばるギリシャから海神ポセイドンの像が神戸市に寄贈され、緑囲まれた須磨離宮公園の台座から海を見守ってくれるのですが、このことはギリシャと日本の友好はいうまでもなく、とりわけ神戸の地が選ばれたことに市民として誇りを感じているわけですが、ギリシャ政府からポセイドンの像を神戸市に寄贈したいという話があつて非常に喜んだのですが、それはギリシャは海洋国家ですし、また同じ海洋国家である日本の都市の中で、代表的な海洋文化都市である神戸が選ばれたからです。神戸にはギリシャ船主の方がたくさんおられるし、そういう関係でもギリシャとの結びつきは深いものを持っています。私も十年ぐらい前にギリシャに行った時、アクロポリスの丘の上から国土を見ると、非常に山の多いところなのですね。これを見て、ギリシャに親近感を覚えました。さんちかのエスカレーターも、アテネの地下鉄に入るところにエスカレーターがあつたのがヒントなのですが、これは日本ではじめての試みでしたね。

それと、今まで言っていることですが、神戸の街を「花と噴水と彫刻の街」にするのが私の夢なのです。そのために離宮公園で彫刻展を開いて、出品作品を神戸の街角に置くことも考えていますし、噴水もあり、花壇、花時計というように街を飾っている時に、ポセイドンという有名な、しかも海神を港都神戸に寄贈されることは非常にありがたいことだと思っております。さらに、須磨の離宮公園にこの彫刻を置こうと考えたのは、それは須磨が神戸市に合併されて五十年になるのです。その五十年の記念としても離宮公園に置きたかったのですよ。

ハラツァリス ポセイドンは、万博のギリシャ館の象徴



コンスタンティン・ハラツアリス氏

いるギリシヤ人は、そう多くはありませんが、一番多く住んでいるのが神戸なのです。資料によりますと四十人ほどが神戸に住んでいるのですが、定住はしていません。でも、神戸を訪れるギリシヤ人の数はきわめて多いのです。

ミーア ギリシヤ人にとって海は非常に重要な意味があります。特にギリシヤを遠く離れているものにとっては神戸などのような海と山に囲まれた街でこそ、海を見たり、波の音を聞いたりしてホームシックを忘れるのです。海が生活の中に入ってくることに、異郷の地にあっても、非常にいきいきとした感情を心の中に持ち続けることができます。その意味でも、港でギリシヤとつながる神戸は、ギリシヤ人にとって重要な場所なのです。

★紀元前五世紀から生き続けるポセイダンの魂

宮崎 ポセイドンというのは海神だと聞いていますが、ギリシヤの歴史の中で、どういう意味を持っているのでしょうか。

ミーア ポセイドンは、嵐を呼ぶということで恐れられてもいるのですが、その反面、海の神様として全ギリシヤ人から愛されている神なのです。神であることと、美術

的存在として非常に大切なものなのです。またこの像はギリシヤ芸術の代表作として関係者の注目を集めている立派なものだから、ぜひ日本に寄贈したく思ったのです。日本の都市の中で、神戸を選びましたのは、神戸が、港を通じてギリシヤの船乗り、船舶関係者に非常に親切にしていたからです。今までのご恩義に報いる気持ちもあるわけです。神戸の港は、実は日本ではじめてギリシヤの船が錨をおろしたところなのです。また日本に



ミーア・ペリボラスさん

史的にも非常に重要な意味を持っているのです。ね。一九二六年に、漁師がポセイドン像の腕の部分に網にかけてそれが大変貴重なものらしいというので、考古学者が二年間にわたって海をさらえて、海草の中に落ちていた像の破片を拾い集めて、一九二八年にひきあげられた像の本体と共に、一九三〇年代の非常に進んだ技術でもって、あたかもパズルを解くように足や手を順次つくりあげて復元し完成体をつくったのです。現在ギリシヤ館に展示しているのは石膏ですが、このたび神戸市に寄贈するためにブロンズを鋳ったので、これは世界で初めての

ものです。これが原像から型を鑄って国外に移した最初の像になるのです。

宮崎 このポセイドン像が、紀元前四五〇年ぐらいのものだと言われているのですが、これだけ古い時代に、あれだけの立派なものができたというのは、ちょっと驚異ですね。

ミーア 美術史的には紀元前五百年から四七〇年ぐらいが、ギリシャの古代時代から古典時代への転換期にかかっているんですね。この時期には、他にもたくさんさんの美術品があるのですが、ちょうどブロンズを使いはじめたのが、この頃にあたっているのです。それ以後になりますと、全体をブロンズでせずに、部分を接合する方法がとられ、作品的価値が減りましたし、またローマへの影響が強くなり、美しいものは全くローマへ運び去られ、なくなったり、また運ぶ途中に海に沈んだりしてポセイドンのようないいものがギリシャの近辺では発見できなくなりました。ポセイドンは見ていただいたら分りますが、トライデンという三つまたの矛を右手に持って、海に波を起こしたり鎮めたりするのです。左手は、矛を投げる方向を指しています。肩にしても、手の先を

見ても、像全体の細部にまで細かい神経がみなぎっているのがよく分ると思います。また、ギリシャにはあちらこちらにポセイドンの神殿があつて、現在神戸に寄贈されるのはミシオンの神殿に祭られていたものです。

★ギリシャ料理は「タベルナ」で食べる

宮崎 万博で、あるいは日本の街の中で交歓された日本人について、どういう印象をお持ちでしょうか。

ミーア 一番すばらしく思うのは、皆さんがスマイルをもって私たちに接してくれることです。このスマイルで全てのことが分りあつてしまふような感じがします。日本人は、非常にたくさんさんの複雑なことを考えておられるのに言葉数が少ない。しかし注意深くゆっくりと話し合いますと、実に思考方法が多面的で深いことに驚いています。

ハラツアリス このたび日本に来たのも、万博のためが半分の目的で、そのほかに、日本についていろいろと勉強したく思っている。日本が非常に古い歴史を持っていることはよく知っているので、古い日本に強い関心をもつて、京都・奈良を訪ねて、それを確かめてきました。一方、現代の日本が非常にエキサイティングであり、ダイナミックな動きがあることにも興味があるので、特に日本の若者の思考方式を、この機会に十分理解して帰りたいと思っています。

ミーア 神戸は、日本の都市の中でも本当に好きな街で、しかもありがたいことに神戸には本格的なギリシャ料理のできるレストランがありますね。あのギリシャ・ビレッジでは、食事音楽もサービスの仕方も、全部本格的なものです。ギリシャ料理の特徴は、非常に野菜を多く使うことと、オリーブ油を材料にふんだんに使うことですね。それと冬場になるとラム



宮崎辰雄神戸市長

を使って、夏には小牛を使います。今度市長さんがギリシャに來られた時には、アクロポリスの麓にあるプラカという所にご案内致しませう。

う。非常に細い道が曲りくねった特殊な場所、小さいレストランが多いのですが、その料理や雰囲気は本格的なものです。面白いことに、ギリシャでは、小さなレストランのことを「タベルナ」というのですが、これは日本語の「食べるな」とは関係がありませんので、ご心配のないように（笑）

宮崎 リスボンのファドウ酒場にせよ、ローマのトラステレにせよ、古い街で細い曲りくねった道をたどっていった、小さな本格的なレストランを見つけるのは楽しいことですね。

★ボセイドン像は神戸市民の心に生きる財産

宮崎 須磨の離宮公園に寄贈されたボセイドンの像を置くのですが、それを飾る場所についてはいかがでしょう。

ハラツアリス あの場合が、私どもが考える限りの一番いい場所ではないかと思えます。背後に山、前面に海がある離宮公園で最適な場所をと物色したのですが、その後、大使の方に離宮公園の資料などを送りまして見てもらったところ、非常にいい場所を選んだと喜んでくれました。

宮崎 この場所の決定に関しては、私一人で決めるにはこういう方面の知識も不足していますので、神戸の美術関係の、彫刻家、美術評論家、新聞社の学芸部長に集まってもらい、像の位置、照明の仕方を研究していただいたい結果、この離宮公園のカスカードの前に飾ることに決



ボセイドン像の前で、アヴラミディス駐日大使とギリシャ館ホステスと宮崎市長、海の女王たち

めたのです。
ハラツアリス 今年の九月には外務大臣の来日が予定されていますので、ぜひ離宮公園のボセイドンの像をみていただこうと考えております。

宮崎 最後にあたりまして、このたびボセイドンという貴重な彫刻を神戸市民のために寄贈していただいて、非常にありがたく思っています。「花と噴水と彫刻の街」に神戸の街を飾るための最高の贈りものですし、神戸市の大切な財産として、須磨離宮のカスカードの前で、風雨にさらされても海を守ってくれることでしょう。また、この彫刻を見て、勤勉な、また新しいことをどんどん取り入れる日本人、特に開港以来の新聞の街である神戸市民が、紀元前五世紀のギリシャ文明にまで考えをさかのぼらせることが、歴史の深さを知ると同時に、あらためて神戸とギリシャの関係に理解を増すことだと思えます。

これを機会に、ギリシャを訪れて、ボセイドン像の誕生の地を見たくなる人がふえ、一方、神戸を訪れて、離宮公園のボセイドン像をみて故郷を偲ぶギリシャからのお客さんがふえることを願っております。

ギリシャの一人でも多くの友達に知人に、神戸の須磨の離宮公園に行けば海を見はるかすボセイドン像が見られる、とお伝え下さい。

それが神戸を理解していただく一番の早道ではないかと思えます。

ハラツアリス ぜひ今度は、市長さんに多くの人をお連れになつてギリシャを訪問していただきたいと、最後にお願ひしておきます。

経済ポケット

ジャーナル



★神戸港第七防波堤

当初計画より七百メートル沖へ
運輸省第三港湾建設局は

第三次港湾整備五カ年計画の一環として、六月中旬から今年度予算約十三億円で神戸港第七防波堤（六甲防波堤）の建設にかかる予定だが、海上輸送の大型化と過密、神戸市の六甲埠頭建設計画、さらには大阪湾西部の全体計画とにらみ合わせて、第七防波堤を当初の計画よりさらに、七百メー

トル沖合いに建設を変更することにし、準備を進めている。

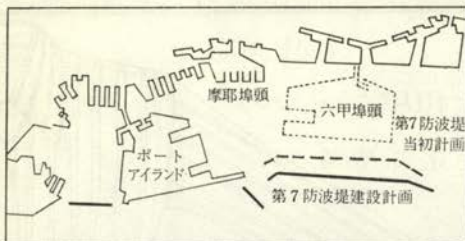
変更した計画では、当初計画よりも七百メートル沖合いに十メートル幅、高さ五メートル（干潮時）の防波堤を建設、新たに第六防波堤西から南へ第七航路を擁護する千二百メートルの防波堤を築き、第七航路の幅も三百メートルから四百メートルへ広げ、船舶の過密、大型化に備え、六甲埠頭と第七防波堤の間の水路も五百メートルから七百メートルに広げる。

★世界初のゴム車輪の電車

川崎重工業株式会社

四十七年に札幌で開く冬季オリンピックのお客を運ぶために開発された、世界で初の「案内軌条方式電車」が六月一日、川崎重工兵庫工場で完成した。

これまでの電車と違い、一本の案内線路に導かれて走行輪、案内輪にはともに空気入りゴムタイヤで走るというまったく新しいタイプだ。高架地下併用を大



な特長とし、騒音やゆれが少なく、スリッパにも強く、モノレールに比べても軌道保守費をほとんど要しない最高速度七十五キロ、最大乗車人員二両編成で五百四十人を運ぶことが出来る。



完成した案内軌条式ゴムタイヤ電車

★藤本睦郎氏「破壊の経営」を発刊（三星堂）

一九七〇年代は弁証法企業時代の……。アポロ計画で立証されたように経営者も、サラリーマンも非常に高度の目標に挑戦するたけ、新しい組織を編成しなければならぬ。（文中より）

★ KOBE オフィスレディ ★



大 路 美津子 (22)

入船株式会社 自動車部総務係

「車に乗せてもらって酔っていた入社当時、今はライセンスを一日も早く取ってドライブしたいほど車が好きになった」と言う。学生時代に放送部でならした声はさすがに美しい。色は「グリーンと藍が好き」といわれるフレッシュなお嬢さんだ。

市立兵庫商業高等学校42年度卒。

兵庫区在住

著者は、大正十五年兵庫県生まれ、終戦後慶応義塾大学文学部に学び、在学中劇団民芸研究会に所属。昭和二十八年株式会社三星堂に入社、支店長を経て現在営業推進部長。

発行所 青也書店 B六判 二四三頁 価格 五七〇円

★「バンドー化学」に社名変更した阪東調帯

阪東調帯ゴム（梗並正一社長）は、六月一日から社名を「バンドー化学」に変更した。従来の同社の主要製品であったベルトが五割程度になり、逆にポリグレートン、ビニールなど高分子分野の工業製品の比率が急速に伸びていることなどからわかりやすい社名に変えたもの。

なお、社名の変更と同時に新技術、新材料による新しい技術開発に前向きに取り組むため「技術開発センター」の設置など同日付で組織、職制の改正を行なう。

'70 WORLD
SUNGLASS
COLLECTION



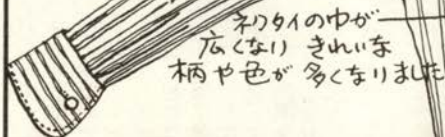
世界のサングラスがいっぱい
ぜひサングラスコーナーを
ごらんくださいませ。

¥ 500より各種品揃

 神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎ 321212代表
三宮店・さんちかタウン ☎ 391874-5

お中元に
大和屋シャツの
お仕立て券を



■大和屋贈答お仕立券の■
人気商品をご紹介します

★白ブロードシャツ地

東洋紡 80番	2,500円
100番	2,700円
120番	3,000円
140番	3,400円
鐘紡クランツ	3,800円

★舶来シャツ地

ウィリアムエーツ LTD(英)	4,300円
ハウザーマン(スイス)	5,400~6,800円
ボルカート(仏)	5,600円
フィスバーのボンダーレース(スイス)etc	

ストライプの
男っぽい
印象的な
柄が流行中

紳士シャツの店

大和屋シャツ

■国際店 ☆カスタムシャツのアトリエ
神戸国際会館1階 TEL25-0220 AM10時~PM7時
■三宮店 ☆紳士シャツ専門店
三宮センター街 TEL33-6956 AM10時~PM8時

★技術ジャーナル ③

七〇年代の

技術革新展望 ④

諸岡博熊

△神戸市企画局調査部副主幹▽

⑦核融合

水爆の平和利用として、核融合の「地上に太陽」はエネルギー問題を永久的に解決するものとみられるものである。物質を数百万度Cの高温にすると、原子がバラバラ——プラズマ状態になるが、これを再びくっつけるときのエネルギーを工学的に応用しようとするものが、核融合である。

科学技術庁の特別研究調整費で原子力研究所、理学研究所、電気試験所などの協力の下、基礎研究が進められている。研究の最大の課題は、なんといってもプラズマを押えこむ、いわゆる、テータ・ピンチ、トラスなどといわれる技術の確立であらう。

⑧MHD発電

MHD（電磁流体）発電は、マイナス二百七十三度

Cという極低温での超電導現象を利用したもので、通産省の大型プロジェクト（大型工業技術研究開発制度）でも取上げている。これは、火力や原子力の発電効率を従来の四〇パーセントから六〇パーセント程度までに引き上げられるといわれ、超電導磁石（七万ガウス）が開発されれば、その実用化は夢ではないと考えられる。

⑨酵素

アミラーゼで代表される消化酵素があるが、この酵素の親類筋が最近脚光をあびてきた。

急性白血病は診断確定後一カ月で五〇パーセント以上の患者が死亡し、六カ月ではほとんど全部が生命を失うといわれている。しかし現在、制ガン剤治療が行なわれるようになって、二年以上の生存者はかなり多く五年を越えるものもみられるようになった。しかし、これは、特定の悪性疾患に著しい効果——白血病、リンパ系組織に由来する悪性腫瘍、小児ガン、悪性絨毛上皮腫などと限定されてい

るが、プレオマイシンが著実な効果をあげているため新しい制ガン剤の開発は夢でなくなりつつある。ところが最近、Lーアスパラキナーゼという酵素が、Lーアスパラギンと呼ぶアミノ酸を分解してしまう作用をもつことが発見された。これは、ガンが、もしこのアミノ酸を栄養として必要とするならば、Lーアスパラキナーゼでその増殖が抑制されるわけだ。

数年前かに、この酵素による白血病の治療が開始された。急性リンパ性の白血病であれば、およそ、その八〇パーセントがLーアスパラキナーゼで治療可能といわれ、酵素によるガン治療はあかるい将来をみている。

そもそも「酵素」とは、生物の細胞内で合成される触媒作用をもつタンパク質といわれるが、数ある酵素のなかで、最近注目されているものに、「消炎酵素」がある。カゼをひいたらカゼ薬と一緒にこの酵素剤を服用すると、炎症のためにできた粘液やウミなどの分泌物の粘度を下げ、ハナ汁

をかみやすくし、かつ、タシを出しやすくする。さらに炎症のある粘膜組織の修復という消炎作用が行なわれる。

カゼをひいたら酵素剤、ガンになったら酵素剤という時代がまもなくやってくることだろう。

目下、アメリカで酵素洗剤が人体に害を与えるものとして非難されている。毒をもつて毒を制すという言葉もあるとおり、使い方によって酵素の未来は明るいといえよう。

× × ×

以上四回にわたって、一九七〇年代の技術革新の展望を行なったが、これは、①人間尊重技術、②大型技術、③高度技術の時代とみてよいだろう。

すなわち、①に対しては住宅、医療機器、教育、公害防止、省力技術などであり、②については、大型プロジェクト、原子力、海洋開発、宇宙開発などであらう。さらに、③はすでに述べたように、電子技術、機械、化学などの分野の技術が開発されていくことだろう。

特集

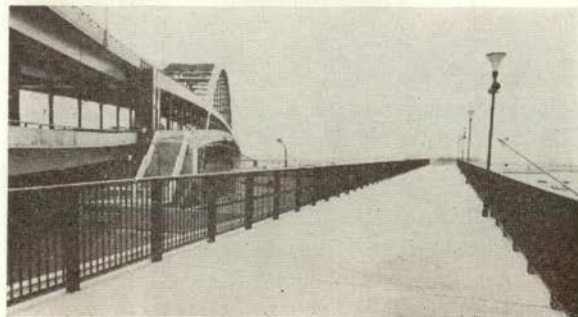
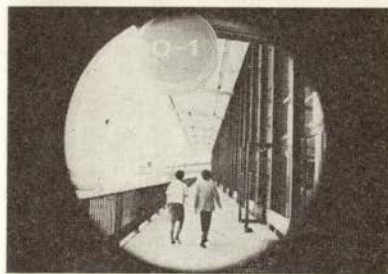
神戸のアーバンデザイン ④ もう一度臨港地区を見なおそう

水谷頌介＋チーム・UR

ポート
ターミナル



海と陸の接点ポートターミナル



★“Back to waterfront”——もう一度臨港地区を見なおそう、という動きが、世界の各都市でおこっています。かつて、都市発展の核としての顔であり、外国への窓口であった港は、長い間の活動に耐えてきた施設も老朽化し、港自身の機能の変化もあっていまでは、その役割を失ったり、忘れてしまっています。そこで海と陸の接点としての機能を再び回復させる臨港地区の再開発計画が、いろいろなアイデアで構想されているわけです。

神戸の臨港地区再開発は、いま三宮都心軸再開発の一かんといったかたちで進行しています。ポートアイランド、ポートターミナル、商工貿易センターといった3つの施設の組合せです。そのなかでのこのポートターミナルは、まさに海—ポートアイランドと陸をつなぐ位置にあります。ポートアイランドから神戸大橋をこえて三宮へ、三宮から神戸大橋を渡ってポートアイランドへ、と海と陸を行きかうたびにこのターミナルをかすめ、また、そのターミナルビルのガラスをとおして、世界につながる豪華な客船を眺めることになります。ここは、まさに“Window to the World”世界への窓なのです。

★神戸の建設事業は、その拠点的位置づけの確かさと、事業規模の大きさの点で、日本一です。神戸の発展を建設事業計画がリードしてきた、といってもいいでしょう。

ところが、事業数があまりにも多くていきとどかないせいか、その建設事業のなかに、つっこみがないのが残念です。せっかくの蓄積にもの足りなさを感じることも多々あります。
(水谷頌介)

特集

市民が楽しめる港 神戸のモダンリビング

(40)

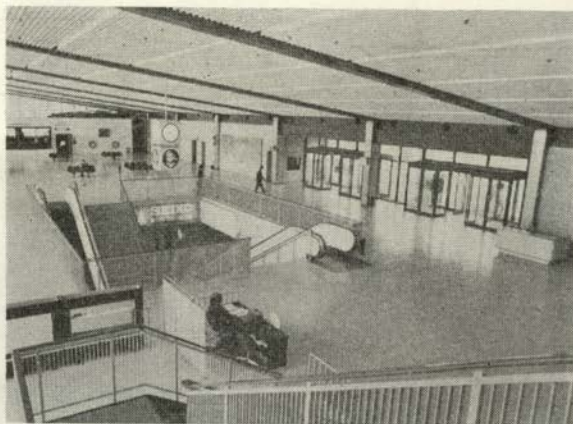
水谷顕介+チーム・UR

ホーミナル ターミナル

★ははっきりと、その輪郭をあらわしてきたポートアイランドに、四突からダイナミックな橋がかかりました。このとっかかりのところに海の玄関ポートターミナルが設けられて、前に新しい建設の気運にもえるポートアイランド、左右は、海からの神戸が見わたせる位置にあり、山にむかつては長くつながるデッキのむこうに貿易センターの超高層がそびえているという具合です。

入ったところがショッピングとレストラン、中2階の展望喫茶に広々としたロビーが気持ちいい、階下は税関、出入国管理などの業務系になっていて、小さなバーと売店もあります。通常は、午前9時から午後8時頃までで、船の着く時には夜中でもオープンするという事です。混雑する、各国の人々のざわめきのなかで、停泊する船々の灯をみながら飲むなんていうのは、神戸っ子の特権かもしれません。昼間はちょっと車をとばしてきた感じの若いカップルや家族づれも多く、今まで、どうしても仕事場に踏入るような雰囲気が強かった港が、神戸市民の手に戻ってきたような明るさがあります。荷役などのスペースも完全に分離されていて、グルグルとペデストリアンデッキをめぐりながら、各国の船を見て散歩する人々も、これから夏にむかつてぐんと多くなることでしょう。欲をいえば花のある、屋外広場がドライな機能本位の建物のそばには効果的だったのという気がします。

(高月昭子)



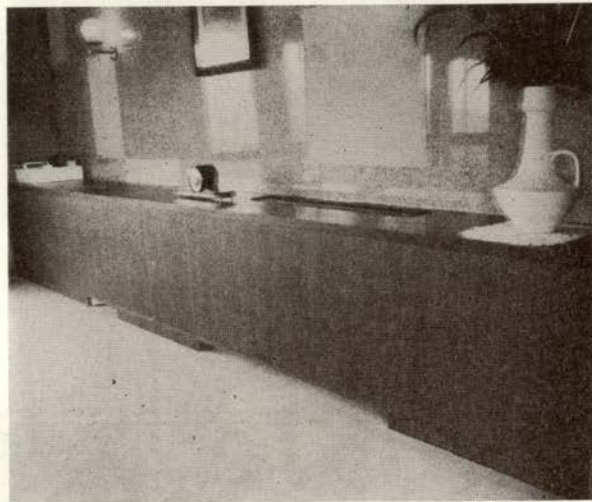
▲船客施設、ロビーの他、案内所、土産品店などが設けられている2F

▶港内が見える展望喫茶、3F

▼送迎用デッキから貿易センタービルを望む



まいるーむ まいしよっぷ



この写真に見られるサイドボードは
キャビネットとしての機能性と
家具としての装飾性を
同時に兼ねたものです



これからの住空間には
このような考え方をとり入れた
いわゆる造り付け家具なるものが
中心となってくると考えられます



インテリアイリフネ

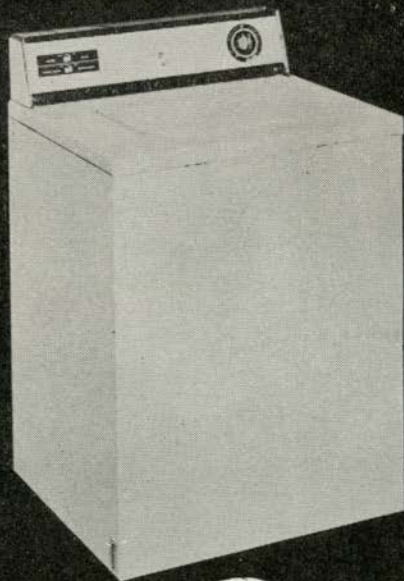


入船株式会社木工部

神戸市灘区友田町5丁目2-2
TEL 078 (85) 3191~4

GENERAL ELECTRIC

世界的GE社が誇る夢の完全自動洗濯機
1度に6.4kg洗える大容量。!



輸入家庭電化製品神戸唯一のGE特約店
輸入電化製品の修理も致します。

リイチ産業 K. K.

三宮・トア・ロード TEL 078(33) 8673

人間味あふれた
手づくりの美しさ...

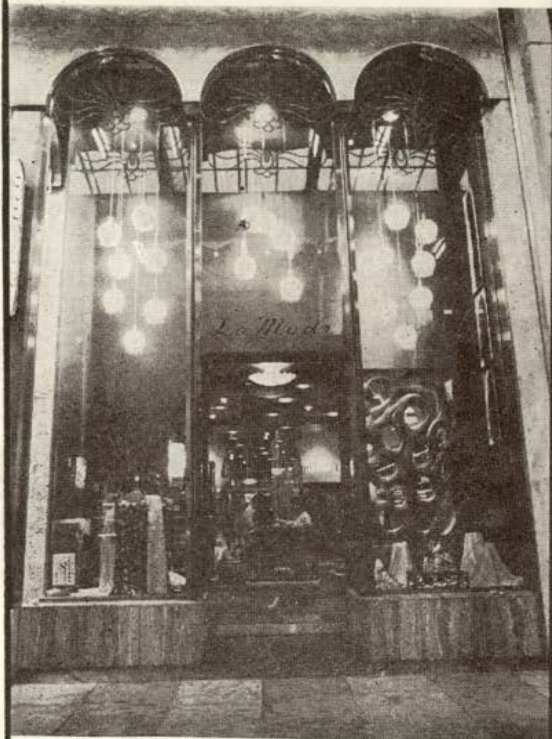


インテリアの



不二屋

ショールーム 神戸市生田区三宮町3丁目5番地
<トア・ロード> 神戸 (078) 39-0535 (代)
葺合工場 神戸市葺合区旭通1丁目10番地
小東山工場 神戸市垂水区多聞町小東山975ノ1

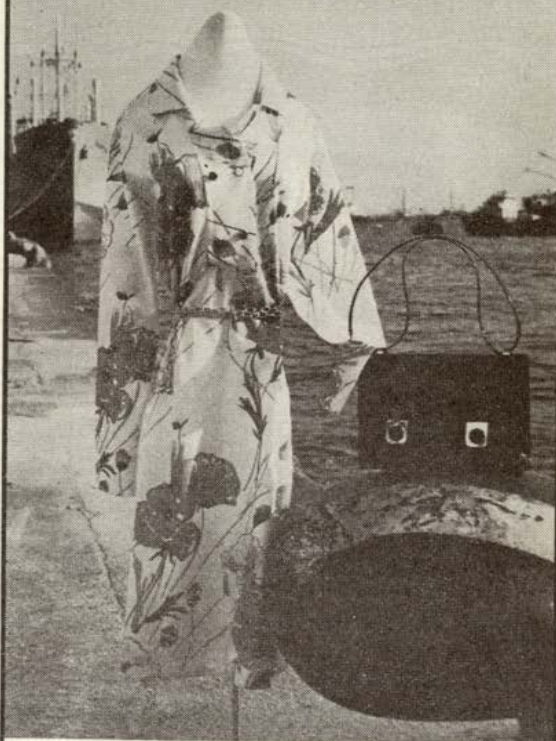


Lady's Shop

La Mode

MOTOMACHI KOBE TEL 33 5689

ヨーロッパからさわやかな
夏の逸品が到着いたしました



美しさを創るオートクチュール

アスター ニュートン

神戸トアロード TEL <33>1818, 1858

大阪阪神 TEL <361>1201